

軽井沢町地域公共交通会議 会議録

○開催日時 令和6年5月30日(木) 11:00~11:40

○開催場所 軽井沢町役場 2階 第3・4会議室

○出席者 土屋三千夫、山岸康範、美斉津真崇、鷹野裕司、遠山隆雄、土屋隆、鈴木健夫、矢内英男、内堀詩子、山崎伸一、松井道夫、竹島達也、白鳥明、松葉和彦、小出慎一、高岡誠司、上原章生、寺島乾士、菊池一成(敬称省略)
事務局：児玉香織、森憲之、市村祐樹、安藤創
(株)地域総合計画 都市計画事業部 宮澤一成課長 谷口成志技師

○傍聴者 4名(定員4名)

○次 第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 事

(1) 令和6年度町内循環バス(東・南廻り線)の運行計画(案)について

(2) 地域公共交通計画の策定について

(3) その他

4. そ の 他

5. 閉 会

○議事内容

1. 開 会

【事務局】

皆様お疲れ様です。定刻になりましたので、これより軽井沢町地域公共交通会議を始めさせていただきます。

議事に入るまでの間、会議次第に沿いまして司会を務めさせていただきます、住民課長の児玉でございます。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。着座にて進行させていただきますがご了承ください。

始めに、町では住民等の町政への参画と共に、公平で透明な町政を推進することを目的といたしまして、軽井沢町審議会等の委員の選任及び会議の公開に関する指針を策定いたしました。この指針に基づきまして本日も公開することとし傍聴可能としております。

また、会議終了後の議事録につきましても、皆様の氏名を伏せた状態で公開をさせてい

いただきますので、あらかじめご了承ください。

なお、今回議題の(2)でもご説明いたしますが、町の地域公共交通計画の策定にあたって、事業を受託いただきました株式会社地域総合計画の都市計画事業部、宮澤課長と谷口技師に来ていただいておりますので、ご紹介をさせていただきます。

今後計画の細部にわたりお力添えをいただきます。どうぞよろしくお願い致します。

次に傍聴者の皆様にお知らせいたします。資料につきましては、会議終了後に回収させていただきます。

会議中は携帯電話をマナーモードにするなど、円滑な会議進行にご協力賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、お手元に配付してございます資料等の確認をお願いいたします。

資料につきましては、次第、「軽井沢町地域公共交通会議参加者名簿」、「軽井沢町地域公共交通会議設置要綱」は両面印刷のものです。資料1「町内循環バス(東・南廻り線)の運行計画(案)」はホチキス留めをし、1-1から1-3まで、資料2「地域公共交通計画の策定について」の5種類となります。資料が不足しているようであればお声掛けください。

よろしいでしょうか。

2. あいさつ

【事務局】

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。まず次第2挨拶でございます。

本会議の会長である土屋三千夫町長より挨拶をお願いいたします。

【町長】

皆さんこんにちわ。軽井沢町長の土屋でございます。

本日は、お忙しいところ、軽井沢町地域公共交通会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、昨今の地域公共交通を取り巻く環境は、報道等でも伝えられておりますとおり、運転手不足や利用者減少で存続が危ぶまれるものが少なくないのが実情であり、観光需要の回復とも相まって深刻な状況となっております。

町といたしましても、課題解決に向け、今年2月に、「観光シーズン等におけるタクシー供給強化に関する連携協定」を締結し、タクシー供給量を増やす取り組みをスタートさせました。ゴールデンウィーク中のタクシーの状況は、昨年と比較しますとタクシー待ちの時間も短くなり、町への苦情もございませんでしたので、この取り組みがまずは成功しているものと捉えております。

しかしながら、タクシーに限らず、バス事業者における環境も厳しく、運転手不足に加

えて、バス運転手の労働時間等の基準が見直され、町内循環バスを運行している事業者様においても、ご苦勞されている状況となっています。

本日の議事では循環バスのうち1社のダイヤ改正案をお示しさせていただきますが、それぞれの地域の実情を勘案し、影響を最小限にとどめるようご検討をいただいているところでございます。

結びになりますが、今後の公共交通網の維持、確保のためには、行政の施策とともに地域住民の協力が必要と考えています。

今年度から取り組む「地域公共交通計画」もコンサル事業者が決定し、内容の精査が進められております。この会議の中でも、随時内容を報告させていただき、ご意見をいただくこともあろうかと思えます。

今後とも、皆様のご協力を賜りますようお願いいたしまして、あいさつとさせていただきます。

本日はよろしく願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

3. 議事

【事務局】

これから議事に入りたいと思いますが、軽井沢町地域公共交通会議設置要綱第4条第2項の規定に基づきまして、会長が議長を務めることとなっておりますので、土屋会長、進行をよろしく願いいたします。

【会長】

はい、わかりました。進行は着座にて進めさせていただきます。

皆様のご協力をいただきながら議事を進行させていただきますので、よろしく願いいたします。

早速ですが、本日の議事に入りたいと思いますが(1)の令和6年度町内循環バス(東・南廻り線)運行計画(案)について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

はい、事務局の住民課交通政策係、森と申します。よろしく願いいたします。着座にて説明をさせていただきます。

議事(1)町内循環バス(東・南廻り線)の運行計画(案)について説明させていただきます。

資料1-1をご覧ください。こちらは東・南廻り線の運行系統図となります。

前回のこの会議でも事前にお知らせをしておりますが、今回の改正にあたりましては、図の左下の部分、赤地に白文字で記載してございますが、発地地区に新たに建設され

た「発地公民館」と「南地区児童館」が一体となった複合施設「ほっち交流館」が開館したことに伴い、地元区から循環バスの乗り入れの要望があったため、検討の結果実施することとしてお示しするものです。

区長からの聞き取りによりますと、現在下発地地区の小学生は、集落内がフリー乗降区間であることから、現状バス路線沿線の任意の場所（図面で言うと下発地～下発地入口の間）からまとまって乗車しております。しかしながら集落内は建物が多く、道路もカーブがあつて見通しも悪いため、必ず保護者が乗車場所で児童が乗車するまで安全確認をすることが条件となっております。今回ほっち交流館バス停の新設により保護者の負担もなくなり、児童も安全に乗降できるとのことでございます。

乗入れにあたっては、区長との協議はもとより、複合施設前のロータリーへの大型バス乗り入れのための設計・施工、及びバスの試走などを実施しております。

また、この乗り入れに伴い、バスの定時性確保の観点から利用の少ない停留所を廃止することといたしました。

図面中ほどの風越公園よりも北側に、循環バスの停留所が3つございますが、この塩沢湖・塩沢・塩沢交差点の3つのバス停留所を廃止し、路線バスは風越公園で方向転換をすることとなります。

廃止の理由につきましては、先ほど申しあげたとおり利用実績が少ないこと、また夏季等の混雑時には塩沢交差点までの道路渋滞により定時性が確保できないこととございます。

こちらにつきましては、協議の経過として塩沢湖の施設内や東急ハーヴェスト敷地内、そのほか民間所有の空き地での方向転換なども検討し、停留所存続の可能性も模索いたしました。大型バスの転換スペースや既存バス路線との兼ね合いで実現できなかった経過がございました。

なお、この件についての塩沢地区への協議につきましては、塩沢区の区長ほか関係者に説明し了承を得ております。

資料1-2をご覧ください。こちらは該当箇所拡大図ですが、路線図下側の赤く示した部分が新たに認可を申請する部分です。

右下の拡大図をご覧ください。ほっち交流館へのバスの進入経路の導線が示してございます。

なお、この赤い部分はその前後と同等に、フリー乗降区間といたしますが、特に児童生徒には、安全確保のため極力バス停留所から乗降することを町からも依頼したいと考えております。

続いて資料1-3をお願いいたします。

こちらは変更後の時刻表の案となっております。改正期日は資料右上に記載がありますとおり、令和6年7月13日を予定しております。なお外回り、内回りとも便数に変更

はございませんが、先ほどの会長挨拶にもありましたとおり、バス事業者を取り巻く環境は厳しい状況です。ご理解をお願いいたします。

(1)の説明については以上です。

【議長】

ありがとうございました。ただいま事務局より説明がありました令和6年度町内循環バス（東・南廻り線）の運行計画（案）についてですが、質疑等ございますでしょうか。よろしいですか。

---なしの声あり---

【議長】

なしでよろしいでしょうか。それでは質問がなければ、ただいまの(1)令和6年度町内循環バス（東・南廻り線）の運行計画（案）について、ご承認いただけますでしょうか。

ありがとうございました。多数の拍手をいただきまして承認ということになりました。

ご承認されましたので、資料の1-1-から1-3の(案)を消していただきますようお願いいたします。

続いて、(2)の地域公共交通計画の策定について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

はい、それでは資料2をお願いいたします。

(2)地域公共交通計画の策定について事業概要と事業の内容、スケジュールについて資料に沿って説明させていただきます。

1の業務概要ですが、

①事業概要

事業名	令和6年度 軽井沢町地域公共交通計画策定業務
業務箇所	軽井沢町全域
履行期間	令和6年5月10日～令和7年3月31日
発注者	軽井沢町地域公共交通会議（事務局：軽井沢町住民課交通政策係）
受注者	長野県須坂市 株式会社 地域総合計画 代表取締役 野平芳一

②事業の目的

軽井沢町は町民や事業者のみならず、別荘所有者や観光客の移動手段に関する充実を図る必要があることから、住民の生活目線、来訪者の滞在目線に立って誰一人取り残さ

ない豊かな暮らしを享受できる社会の実現が求められる。

これを踏まえて、地域公共交通のマスタープランとなる「軽井沢町地域公共交通計画」を令和6年度から令和7年度にかけて策定する。

1年目となる今年度は、各種調査を実施し、地域の実情にあった有効かつ実現可能な交通網再編の具現化を検討することを目的とする。

なお、国の補助金申請の関係上、発注者が地域の公共交通の協議体である軽井沢町地域公共交通会議となります。

また現在実施しているパークアンドレールライドや、公共交通利用者への町からの財政的支援事業、昨年度まで実施しておりました「よぶのる軽井沢」の結果分析、今年度から実施するタクシー供給強化プロジェクトやデマンドタクシーの実証運行などを分析し、計画に反映していきたいと考えております。

次に、2事業内容ですが、

①地域公共交通を取り巻く状況及び上位・関連計画の整理としてご覧の2点の事業を実施致します。

②公共交通等の状況把握・データ分析については3点の事業

なお、軽井沢駅前広場の有効活用につきましては、1997（平成9）年の新幹線開業当時の決め事が継承されており、改善された部分はあるものの、渋滞が発生したり使い勝手が悪いなど支障があるため、この交通計画に合わせて改良の方策を探ってまいりたいと考えております。

改良を実行するにあたっては、本日参加されております関係団体の皆様をはじめ多くの皆様の合意形成が不可欠と考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

③利用実態調査

④町民・別荘所有者への意識調査は4点ほどございますが、高校生及び小中学生保護者へのアンケートにつきましては、県立・町立の学校に加えて、私立の学校も対象とするか、今後検討してまいります。

⑤ワークショップの開催・意見集約等

⑥地域公共交通計画（案）の方向性に関するとりまとめ

以上のような業務を進めてまいります。

続きまして、3業務行程でございますが、業務実施期間、業務内容の順に申し上げます。

令和6年5月から7月にかけては、地域の概況関連計画の整理公共交通の概要調査各種アンケートの調査の準備を行います。

6年8月から10月にかけては、利用実態調査（1回目）各種アンケート調査の配布回収ワークショップの開催、人流ビッグデータの分析6年11月から令和7年1月にかけて各種アンケートの調査の集計分析利用実態調査の2回目

令和7年2月から3月にかけては利用実態調査の集計分析問題点、課題の方向性の

取りまとめを行います。

このようなスケジュールで事業を進めて参ります。委員の皆様におかれましては、会議の開催、ワークショップへの参加などをお願いし、ご意見を頂戴することもあるかと存じますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

今回は計画策定のうち、令和6年度中の事業についてお示しました。

令和7年度に入ってから業務につきましては今後改めての説明となります。

(2)の説明については以上となりますが、ここで受注者である株式会社地域総合計画から、挨拶を兼ねて一言お願いいたします。

【受注者：(株)地域総合計画】

改めまして皆さんこんにちは。

株式会社地域総合計画の宮沢と申します。本日は業務担当いたします谷口と、この対策会議に参加させていただきました。

今年度の調査につきまして今、事務局の方からご説明ございました通り、地域公共交通計画策定に向けた基礎調査というのを今年1年実施していくわけですが、事業内容をご覧いただきますとわかる通り交通事業者の皆さん、それから出席されている各種団体の皆さんのご協力をいただかなければ、この調査自体が実施できないということですので、何卒ご協力いただければと思います。

私どもの会社は若干知名度が低いものですから、会社の概要を簡単にご説明させていただきますと、先ほどお話あった通り本社が須坂市にございます。長野県内の自治体を中心とした計画の策定、それから調査の支援というものをさせていただいております。まず軽井沢町さんにおきましては都市計画マスタープランですとか環境基本計画、こういったものの策定のお手伝いをさせていただいております。

公共交通に関していいますと東信地域におきましては上田市さん、それから佐久市さん、立科町さん、現在策定中の長和町さんといったところで公共交通計画の策定の支援をさせていただいております。

ですので、そういった経験も含めながら今回の調査に反映していきたいと思っております。今回の調査結果につきましては、できるだけ皆さんにご検討ご判断いただけるような形での資料を取りまとめたいと思っておりますので何卒よろしくお願いいたします。以上です。

【議長】

ただいま事務局および受注者の方から、事業の目的、事業内容、それから令和6年度のスケジュールについてご説明をさせていただきましたが何かご質問、御意見等ございましたらお願いいたします。

【A委員】

はい〇〇〇〇の〇〇です。

事業内容の④町民別荘所有者の意識調査とありますが、この中で町民2,500名、別荘所有者1,000名のアンケートの取り方、例えば地域ごとに東中西南北というような形で分けてやるのか、ただランダムで2,500抽出してやるのか、そこら辺ちょっとお聞きしたいと思いますけど、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

軽井沢町住民課交通政策係の市村と申します。どうぞよろしくお願いいいたします。

計画策定の主な担当をさせていただきますので私の方からご説明をさせていただきます。

今考えているアンケート2,500名に関しましては、無作為抽出で実施する形で考えてございます。

一方で先ほど言った東中西南北というような観点に関しましては、ワークショップを今年4回開催する予定で考えてございますので、先ほどのご意見に関しましては、そういったワークショップを通じて意見の方を拾い上げていきたいというような形で考えています。以上でございます。

【A委員】

ワークショップを地域でやるからというような話なんですけれども、ワークショップで出席する人って限られていて、ごくわずかだと思うんですよ。ですからやはり、地域枠でも抽出できるわけですから、そういう方向でやった方が地域ごとのアンケート結果の結果は出ますし、そのワークショップはワークショップでの意見というような形でやった方がいいのかなと私は思いますけどいかがでしょうか。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。こちらにつきましては、いただいた意見を事業者とともに抽出方法を改めて検討させていただきまして実施できればと思っています。以上でございます。

【議長】

はい。ワークショップのやり方ということもあると思いますし、地域ごと地域に出向いてやるのか、工夫をした形で今のA委員の言われた目的も達成するということなので工夫してもらいたいと思います。

他によろしいでしょうか。

はい、お願いします。

【B委員】

〇〇〇〇の〇〇と申します。

一点教えていただきたいんですけども2の事業内容で、今もご質問があった④に関してなんですけども、例えば高齢者とか観光客に対してのアンケートっていうところ何か一点目に含まれているのかどうか教えていただければと思います。

【事務局】

アンケートに関しましては記載の通りでございまして、その他高齢者等に関しては実際に交通機関を使われている利用者等が多いところも考えてございますので、実際にバスに乗車して、そういった方に意見を聞いていく形では考えています。

なお、利用者のアンケートに関しましては3月に開催したシンポジウムで講演をいただきました長野工業高等専門学校の轟先生にもご意見を聞きながら、どういった形でのアンケートの実施が良いのかというところは会話をさせていただきながら進めていければと考えています。

以上でございます。

【議長】

はい、よろしいでしょうか。

今、説明がありましたように長野高専の轟先生は地域交通の専門家で、他の地域でも深く関わってこられ、マクロでの分析だとか、もう既に町内のデータ分析等もしていただいていますので大きく関わっていただく予定です。

補足させていただきました。

あと他によろしいでしょうか。

はい、では他に質疑もないようですので地域公共交通計画につきましては、いただいたご意見も踏まえまして、事務を進めさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

続いて括弧3その他についてですが事務局から何かありますか。

【事務局】

事務局からは特段ございません。

【議長】

その他、全体通して皆さんから何かありましたら、または聞き漏れたとかありましたら、ぜひお願いいたします。

はい、お願いします。

【C委員】

軽井沢の〇〇〇〇から来てます〇〇でございます。

今回こういう会議に初めて参加したんですけども、これから交通を取り巻く環境の整備ということでこれからデータ分析とか、ビッグデータを活用して分析するっていうんですけども、現状ではまだその辺のデータはまだほとんどないのかということと、例えば将来的にはですね、自動運転だとか、そういうことも踏まえて策定していくんでしょうか。その辺をちょっと聞きたいんですが。

【事務局】

はい、お答えさせていただきます。データ分析に関しましては、コンサルさんの方で人流のビッグデータ等を準備させていただきまして、分析をしていくという一方で、町内の循環バスの利用状況等も分析をしていくというところもございますので、そちらについては日々報告いただいている積み上げの人数等も、コンサル事業者に提供させていただきまして分析を行っていくという形で考えてございます。

2点目のご質問でモビリティというところの観点でいきますと、カーシェアリングだとか、グリーンスローモビリティだとか自動運転といった様々なものが、各地域に走っています。その中でこの軽井沢町地域で何が適しているのかということも含めて、幅広く検討していく形では今考えてございます。

以上でございます。

【議長】

よろしいでしょうかはい、はい。

事務局の方でも幅広く、各地の状況ですとか先進地域の視察等も併せて行っておりますのでその辺りまた引き続き、ご意見、それから情報等ありましたらお寄せいただければと思います。

他に何かありますでしょうか。よろしいでしょうか。

---なしの声あり---

はい、特段ないようですのでこれで全ての議事が終了いたしました委員の皆様のご協力に感謝し、議長の任を降ろさせていただきます。どうもありがとうございました。

【事務局】

土屋会長ありがとうございました。

それでは次に次第の4その他に関しまして、事務局より報告申し上げます。

それでは事務局から1点ご報告を申し上げます。

冒頭の会長挨拶でも触れておりますが、観光シーズン等におけるタクシー供給強化に関する連携協定の経過についてご報告をさせていただきます。

資料は特にお示ししておりませんがご了承願いたいと思います。

この協定は2月に締結しましたけれども、差し当たって実施する取り組みが3つございます。

まず1点目として、町内タクシー業者の車両への配車アプリの導入ですが、3月28日から軽井沢地域でも利用が開始されました。ゴールデンウィーク前の4月下旬には、町内の5事業者それぞれが予定していた全ての車両に対して設置を完了しました。設置台数は107台となります。

運行実績といたしましては、5月20日現在の実車回数で4,292回、そのうちゴールデンウィークの期間中は1,846回の運行がございました。アプリ導入による配車の効率化が一定程度図られたと考えております。

次に2点目として、日本型ライドシェアの導入でございます。

こちらにつきましては、国土交通省の許可が4月25日に出されたことを受け、報道でも取り上げていただきました通り、翌26日に軽井沢町役場駐車場において出発式を行い、ゴールデンウィークに間に合う形で稼働することができました。

なお、これまでの運行実績といたしましては、実車回数が98回、ゴールデンウィーク期間中は72回でございました。

また、乗務員の応募状況といたしましては、435名の応募があり各タクシー事業者の面接や研修を経てライドシェアドライバーとして登録されている方は、5月20日現在で14名でございます。

3点目の事業として佐久市などの周辺地域からタクシーの車両・乗務員の派遣をしていただくという事業ですが、これに関しましては長野県タクシー協会において佐久交通圏のタクシー事業者に対して意向調査が実施され、協力いただいていた事業者が数社いると聞いておりますが配車方法等に課題もございますので、今後その点を踏まえ夏の繁忙期に向けて検討を進めることとしております。

以上連携協定の実施状況をご説明いたしました。今年度のゴールデンウィークは新幹線の利用状況が前年比で増加していると発表されている一方でタクシーの利用者は昨年に比べて少なかったのではないかと伺っております。今後はタクシー事業者やアプリ提供事業者から聞き取りなどを踏まえ、夏期の対策を検討してまいります。

以上報告とさせていただきます。

【事務局】

事務局よりその他でご説明させていただきましたが、内容について質疑等がございませんでしょうか。

---異議なしの声あり---

ありがとうございます。

本日は貴重なお時間を頂戴し、ご意見をいただきましてありがとうございました。

地域公共交通を取り巻く環境は厳しい状況ではありますが、行政といたしましても試行錯誤をしながら、安心して快適に過ごせるよう努めていきますので、引き続きご理解ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

以上をもちまして、軽井沢町地域公共交通会議を閉じたいと思います。

本日はお忙しい中ご参集いただきまして誠にありがとうございました。